

むつ市都市計画マスタープラン

第2回公開勉強会

テーマ3 住民参加のまちづくり

平成21年3月14日

主な住民参加の手法

(1) アンケート調査による市民の意見・意向の把握

- ◆ 平成20年12月に、市民3,200名(無作為抽出)を対象に実施し、ご回答を伺っています。
- ◆ 調査結果は、市全体や地区別などに集計を行い、随時、公表してまいります。

(2) ホームページ等を活用した意見募集

- ◆ 市都市計画課のホームページには、策定経過やまちづくりの情報を掲載しています。
- ◆ ご意見やアイデア等を常時、募集しています。

(3) 公開勉強会

- ◆ 市民の方々に、まちづくり(都市計画)に関して興味を持って頂く機会、テーマに沿って直接的に意見を頂く機会として開催しています。

(4) 市民による会議(ワークショップ)

- ◆ 計画づくりにおける住民参加の手法として、近年、多くの自治体で実施されています。
- ◆ 計画づくりを市民どうしの間での議論によって進め、市民が主体となった計画案を提案していきます。

◆ 一般的に、次のような役割分担によって進められます。

立場	特徴	役割
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・地域をよく知っている ・自分たちの生活の範囲をよく知っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の問題・課題の把握／・地域のまちづくりの方向性検討 ・計画実施のモニター／・WSの主体・ファシリテータ／・個性的・持続的なまちづくりのキーパーソン
行政	<ul style="list-style-type: none"> ・市全体を公平に把握している ・市全体の計画・情報を把握している 	<ul style="list-style-type: none"> ・市全体の問題・課題の把握／・事業の進捗等情報の把握 ・市全体のまちづくりの方向性／・計画実施の主体 ・WSにおける市民の支援／・事務局
コンサルタント	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの専門的な知識 ・まちづくりの経験が豊富 	<ul style="list-style-type: none"> ・他市の事例の紹介／・現地調査のみならず市民、行政から得た地域の情報を基に専門的な知識・情報を背景としたアドバイスや計画の提案／・WSのコントロール

(5)パブリックコメント

- ◆ マスタープランの素案をまとめる段階で、広く市民に対して、ご意見を伺います。素案をホームページや市の主要な施設に配置して提示していく予定です。
- ◆ ご意見等に対しては、『どのように反映したのか』、あるいは『反映しなかった場合にはその理由』を回答させて頂く予定です。

大畑町都市計画マスタープランの 策定事例

(1) 住民ワークショップ・・・8回開催(H12～13年度)

第1回

(テーマ) ①自然を活かしたまちづくり

②高齢者・障害者に配慮したまちづくり

③中心市街地と商店街活性化

第2回

(テーマ) 3つのグループに分かれ、グループ討議

①自然『森、川、漁港、浜を一つの流域として考える』

②まち『コンパクトなまち緑の多いまちを』

③暮らし『魅力ある中心街をつくるためには』

第3回

(テーマ) 漁業関係者からの意見聴衆、関連討議

第4回

(テーマ) 『まち歩き』、『まちあるきマップ』の作成

第5回

(テーマ) ①まちなかプロジェクト
②市民農園とビオトーププロジェクト
③資源エネルギー循環コミュニティプロジェクト

第6回

(テーマ) ①中心市街地について
②都市施設について
③地域・自然共生型まちづくりについて

第7回

(テーマ) ①第2次素案についての討議

②自分にとって大切な場所、将来に残したい場所や道

第8回

(テーマ) 3つのグループに分かれ、グループ討議

①まちなかの商業と居住

②海と森の自然保護、育成

③産業振興と地域経済循環

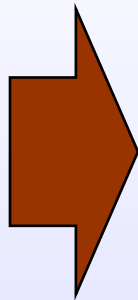


**【住民ワークショップ・
策定委員会の様子】**

(2)まち歩き・マップの作成



【まち歩きの様子】



【マップの作成】

(3) 人生ゲーム

- ◆ある1人の人物を決めて、その人の一生を、『どんな人生を歩んでいるのか（歩みたいのか）』を想像して人生を完成させるものです。
- ◆その時々で、『どんな場所に住み』、『どんな人と、どんな暮らし』をしたいのか具体的に文字や絵にしていくゲーム感覚で、あるべきまちの姿を描いていくものです。



都市計画マスタープラン策定のプロセス(案)

